



『港町の夕陽』 撮影者：熊谷 歩夢（経済学科3年）

東日本大震災により被災された学生に対し、引き続き経済的支援を行っています。

この震災により入学金や授業料の納付が困難となった学生に対して、入学金の免除や授業料の減免を行っています。

ご相談については、事務局学生課までお問い合わせください。

C O N T E N T S

学長メッセージ……………2

新任教員紹介・活躍する教員…………… 3・4

卒業予定者の内定状況・
キャリアセンターだより……………5

活躍する公立大生……………6

公開講座のご案内……………7

インフォメーション……………8



一粒で何度でもおいしい、もの

釧路公立大学学長 高野敏行

9月に入りました。

まさに釧路らしい涼気・秋空です。ひとりで歩いている、つい空を見上げて、「ああ、いい日だなあ」と声に出してしまいます。

4月の入学式で式辞を述べましたが、(大学のホームページに掲載されているそうです。)そのあと、「ああ、もう式辞を述べることはないな」という思いが湧いて、肩がほんの少し軽くなりました。その後半年が経過し、さまざまな機会ごとに肩はますます軽くなりつつあります。あと半年、丁寧に過ごしていかなばとみずから戒めています。といいながらも、今回もまた勝手なことを書いてしまいそうです。あらかじめお許しください。

夏休みの間に少しだけ釧路を離れていました。お盆ということで、一人だけの孫に会って、1日だけ一緒にいました。まだ言葉が話せないの、なにやら意味不明な声を、不思議な、でも何となく日本語風の抑揚で、発しています。喃語というやつです。あるいは指さしや泣き声で何かを要求します。するとこちらは、うんうん考えて希望らしきものを推測し、抱き上げたり、食べ物を与えます。ずっと子供に注目し、召使のように控えているわけです。アランという哲学者が、言葉で要求したら何でものぞみを実現するという幼児期の体験が、おとぎ話の中に出てくる「魔法」というものの原型なんだと書いていますが、その説になぞらえて言えば、私は1日だけ、おとぎ話の中の魔人の役を務めてきたというわけです。

8月下旬には旭川を中心に高校訪問に行きました。私の卒業した滝川の高校にもまわりました。顔なじみになった先生も複数いらして、そんなときはつい長話になってしまいました。ある高校で

は生徒たちと2時間も話してしまいました。おしゃべりな学長だな、と思われたでしょうね。

幼児、高校生たち(あるいは大学生)とともに時間を過ごしていると、ときどき「ああ、この人たちはまだ1回目の人生を手探りで生きているんだな。」と思うことがあります。そんなことを言うと、「誰だって人生は一度きり」と言われそうですが、かなり以前、我が家に子供が生まれ、子育てに打ち込んでいた頃に何度も、「自分はこの子くらいのとき、こんなことを思っていた」と自分の幼かった頃を再体験したものです。その時以来、「子供が一人いれば、自分の人生を2度味わえる。(私は)二人だから3度味わっている」と思っています。教師になって、自分の子供ではない若い人たちに接するとそうした思いはますます頻繁になりました。今では、子供や若い人の存在価値の一つは、どんどんいろいろなことをやって、ときには心配をかけて、親に(あるいはまわりの大人や先輩たちにも)「自分も若いとき、幼かったときには、こんなもんだったな」と思わせ、何やら豊かな気持ちに浸らせることだ、と思うようにさえなりました。

こうした、人間相手に抱いてきた思いが形を変えて、このごろでは、もう何度も読んだ本を読み返すたびに、「以前の自分の読みは浅かった」と気づくことがよくあります。というか、そんなことに気づかせてくれそうな本を選んで読み返しているようです。自分の若かったころを思い出し、それとは違った(少しは成長した?)今の自分に気づかせてくれる。このあとしばらくの間、読んだり、話すことで、自分の過去や現在についてどんなことを味わえるだろうかと、わくわくしています。

新 任 教 員 紹 介



准教授 永山 ゆかり

(担当科目：ロシア語、ロシア語コミュニケーション)

今年度より准教授として着任しました永山ゆかりです。担当科目はロシア語です。私は札幌市の隣にある石狩町（現石狩市）出身で、祖父がシベリアのワニノ市に抑留されていたこと、小学校の同級生の両親や祖父母が樺太引揚者であったことなどから、ロシアは子供の頃から身近な存在でした。大学では言語学を専攻し、エスキモー語の権威である指導教官のもと、カムチャッカ先住民族の言語を研究し、現在に至るまで20年以上にわたり研究を続けています。大学卒業後はカムチャッカ州（現カムチャッカ地方）のペトロパブロフスク・カムチャツキー市の大学で3年、その後カムチャッカ半島北部にある小さな町の専門学校で1年、通算4年にわたり日本語教師として勤務するかたわら、研究を続けました。

帰国後は大学院に入学して専門の研究を続けていましたが、カムチャッカ時代の縁で、釧路市に本社を置く企業の支社でアルバイトをしたり、釧路市発のカムチャッカ直行チャーター便でペトロパブロフスク・カムチャツキー市を訪問した釧路市の視察団のボランティア通訳を務めたり、釧路市の

皆様にはいろいろお世話になりました。このたび本学に着任したことも、不思議な縁を感じます。

あまり知られてはいませんが、北海道とロシア極東地域は先史時代より人や物の交流があり、中世以降はアイヌ民族やサハリン先住民族による北方交易、19世紀末に始まった露領漁業の時代を経て、現在に到るまで交流が続いています。ソ連崩壊前後に始まった日本とロシア極東地域の経済交流は、一時期その勢いが衰えたものの、近年はロシアからの観光客や留学生も増加の一途をたどり、両国の交流発展にむけてロシア側からの熱い期待が寄せられています。

ロシアといえば金髪碧眼のロシア人を想像する人も多いでしょうが、ロシアは180以上の民族が暮らす多民族国家でもあります。多文化共生や異文化理解は現代社会において必須です。ロシアと縁の深い北海道で、ロシア語やロシアの文化の学習を通して、文化多様性のすばらしさ、異文化のおもしろさを体験してください。



講師 中山 大将

(担当科目：日本史、国際関係論ほか)

本年度より赴任いたしました中山大将と申します。前任の高嶋弘志先生は開学以来の教員でいらっしゃったので、私は本学二代目の日本史教員であり、また、国際関係論（日露関係）の前任者・本田良一氏は日ロ関係に関わる者なら知らぬ者はいない著名なジャーナリストであり、ご両者の後任としての責任を重く感じての赴任でした。

本学は経済学部だけの単科大学であり、日本史、しかも経済史でもない純然たる日本史なんて「教養ごっこ」に過ぎないと思う学生も多いかもしれない、しかしだからこそ開き直り「教養」の重要性を前面に押し出そうというのが、赴任にあたっての私の「覚悟」でした。「教養」とは何か、「大学」とは何か、「知」とは何か、古代ギリシャや中国の諸子百家まで遡り話を始めました。

また、AIを東大受験に挑戦させる「東ロボくん」プロジェクトで知られる新井紀子『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』（東洋経済新報社、2018年）に衝撃を受け、「読む・考える・書く」を講義の基礎に据え、教科書を指定し、予習としてまず自分で読んで理解してくること、講義は自分の解

釈の答え合わせとあって臨むこと、講義終了時には講義を受けての自分なりの発見と質問を書いて提出すること、予習と復習をGlexa（学習支援システム）を通して行なうこと、を受講生には行なってもらいました。

高校までの授業、特に暗記科目とみなされがちな日本史の授業とはまったく異なる講義スタイルに当初学生は困惑し「何を覚えてらいいのかわからない」という声もありましたが、全15回を終えた後には、「自分で考えることの大切さを知った」という声も出てくるほどになりました。

周囲のみなさまの温かいお心遣いで、これまで『亜寒帯植民地樺太の移民社会形成』（京都大学学術出版会、2014年）と『サハリン残留日本人と戦後日本』（国際書院、2019年）を上梓させていただきました。この釧路の地から引き続き、「境界地域史」という概念から一國史・民族史を乗り越え、人間同士がただの人間として向き合い理解し合っていくための新しい「人間史」を探求していきたいと思えます。

教員のみなさま、職員のみなさま、学生のみなさま、地域のみなさま、どうぞよろしく願いいたします。

新 任 教 員 紹 介



講師 丁 雷

(担当科目：中国語)

今年の4月から釧路公立大学に赴任してまいりました、中国語担当の丁雷と申します。出身は中国の北京ですが、両親の仕事の関係で、西安、深圳、香港、上海などで暮らしたことがあります。そのため、私は中国語の標準語以外に、北京弁や広東弁、上海弁を話すことができ、また、大部分の地域の方言がわかります。なので、幼い頃から特に言語に対して興味があり、大学に進学する以前は英語の勉強に励んでいました。大学に進学してからは、日本語教育を選択し、自分の専攻としました。日本に来てからは、日本人の先生の下で一般言語学を学び、応用言語学に関する研究を行いました。そして、日本の大学で中国語教師となりました。2010年から、日本の国立、公立、私立の三種類の大学で9年間中国語教育の仕事をしてきました。同時に、広島県や島根県、鳥取県の大企業や警察、地域の中国語教室においても中国語の教師を務め、知らず知らずのうちに2500人近くの日本人学生を育ててきました。

釧路公立大学では、中国語IからIVまでのすべての授業を担当しています。私は北海道に来たのは初めてで、初めての北海道の大学での中国語の授業でもあります。中国語教育に

関して私が得意とすることは、学生の発音を正しく直すことと、「中国語検定試験」に合格できるよう学生を指導することです。発音を直すことに関しては、最新の音声分析と合成技術を用いて学生が直感的に自分の発音を見て、自分の発音の弱点に気がつけるような手助けを行います。「中国語検定試験」の指導に関しては、私には日本の大学生の試験に非常に合った対策があります。2015年から開始して、私の指導の下で、毎年多くの学生が4級、3級、2級、準1級に合格しています。新たに始めた2年間で学生をゼロから2級レベル(外国語大学の中国語専攻レベル)まで到達させます。

中国語学習が好きな学生や中国文化が好きな学生が私について中国語を勉強することは大歓迎です。みなさんがそれぞれの「中国語の夢」を実現する手助けをします。また、毎年十数人の短期留学の団体を組んで、私の故郷である北京に行き、語学学習や文化考察を行なっています。この活動を通して、多くの若者の中国に対する印象を変え、中国語の重要性に気づかせ、国際交流の必要性も感じてもらいました。今後は私の長所を生かして、釧路公立大学の中国語教育や釧路市の国際交流に貢献してまいります。

活 躍 す る 教 員

本学で活躍されている教員の著書をご紹介します。



著 三輪 加奈 准教授
福井 清一・高篠 仁奈

『開発経済を学ぶ』

(創成社、2019年4月20日)

世界人口の83%を開発途上国の人口が占めています。ただ一概に開発途上国といっても、地理的条件や文化、制度などは国により異なり、多様で個性豊かな国々の集まりといえます。本書は、そんな開発途上国の経済学である「開発経済学」の大学生向けの教科書です。

経済学では、「人間は自己の利益のみに関心があり、その利益を最大化するような合理的な行動をする」ことが前提となっています。しかしそれでは、開発途上国の特に農村部で広く観察される相互扶助(お金の貸し借りや働き手が病気になった家族への金品の寄付などの助け合い)や、確実に収穫量の増えるコメの新品種を紹介されても、多くがそれを採用しないという選択(経済学的には非合理的な行動)は説明できません。

そこで本書では、開発途上国の経済発展を理解するための基礎的事実と理論のみならず、一般的な経済学では説明できないあるいは非効率のと捉えられる、開発途上国の人々の行動や規範・制度などを理解するための考え方や枠組みも紹介しています。

開発途上国というと、遠い世界と思われがちですが、日本ではこれから少子高齢化が急速に進展し経済の縮小も懸念されていることから、海外、特にめざましい経済成長を遂げつつあり、市場も拡大しつつある開発途上国との交流をさらに深めていくことが必要といえます。そのためには相手の国を理解することから始めることが肝心ですので、本書がその一助となれば嬉しいです。

表紙写真解説

港町の夕陽

撮影者：経済学科3年 熊谷 歩夢

釧路港から見える夕日が「世界三大夕日」と呼ばれているので、米町公園や幣舞橋などにはたまに写真を撮りに行きます。その時の1枚です。

夕日が落ちる時間帯も綺麗ですが、個人的には日が落ちて空がだんだん暗くなりだすときの色の变化も好きです。

これからの時期、寒くはなってきますが空気が澄んでより綺麗になるので、ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか？

撮影日時：令和元年8月9日
撮影場所：幣舞橋のたもと

卒|業|予|定|者|の|内|定|状|況

(現在の内定状況)2019/09/17

■**建設業** アベ技建、一条工務店、北弘電社、武ダ技建創、地崎道路、北海電気工事、北海道セキスイハイム、村井建設、夢真ホールディングス、ロコスホーム

■**製造業** きのとや、ケイシイシイ、宏和工業、トヨタ自動車東日本、東日本フード、日の出工芸、プリプレス・センター、ベル食品、もりもと、山崎製パン、ヤマハ発動機、よつ葉乳業、柳月、リンナイ、ロイズコンフェクト

■**卸売・小売業** アインホールディングス、青山商事、アドウイック、イオン北海道、石屋商事、岩崎、岩手マツダ販売、植松商会、NKインターナショナル、オカモトグループ、帯広地方卸売市場、キムラ、業務サポートサービス、クスリのアオキ、クワザワ、コーンズ・エージー、コナカ、サンデー、サンドラッグプラス、三洋興熱、スズキ自販岩手、スズケン、生活協同組合コープさっぽろ、竹山、丹波屋、ツルハホールディングス、DCMホームマック、ドン・キホーテ、日本オプティカル、日本ニューホランド、ネオコーポレーション、ハミューレ、ビッグモーター、ホシザキ北海道、北海道クボタ、北海道ジェイ・アール商事、マックスパリュ北海道、丸大堀内、ミツ輪商会、ムトウ、モロオ、薬王堂、ヤンマーアグリジャパン東北支社、ユニクロ、リコージャパン北海道支社

■**金融・保険業** あおぞら銀行、秋田信用金庫、旭川信用金庫、岡三証券、帯広信用金庫、北日本銀行、共栄火災海上保険、釧路信用金庫、清水銀行、住友生命保険札幌支社、仙台銀行、空知信用金庫、損保ジャパン日本興亜、大地みらい信用金庫、東京海上日動火災保険、栃木銀行、苫小牧信用金庫、北門信用金庫、北洋銀行、幕別町農業協同組合、みちのく銀行、山形銀行、Liv.Design

■**運輸・情報通信** ISホールディングス、アイエックス・ナレッジ、アクリーグ、インターファクトリー、岩手県北自動車、Wiz、ウイン・コンサル、エア・ウォーター物流、AIRDO、HISホールディングス、エイチ・アイ・ディ、SOC、NTTデ

ータ北海道、エフブレイン、共同交通、クレスコ、コクサイエアロマリン、シイエヌエス北海道、ジェイアールバス東北、JR東日本ステーションサービス、ジャパンコンピューターサービス、セイノー情報サービス、東北ディーシーエス、苫東コールセンター、トランスコスモス、日本アイビーエム・ソリューション・サービス、日本貨物鉄道、日本システムウエア、日本郵便、ハイマックス、東日本旅客鉄道、姫路合同貨物自動車、富士ソフト、フラワーヒルズ、北海道キューブシステム、北海道旅客鉄道、ホープス、ミツ輪運輸、ヤマト運輸、UTグループ、REGAIN GROUP、ロジネットジャパン、Y&I Group

■**電力・ガス** 伊藤忠エネクスホームライフ東北、北ガスジェネックス、新弘設備工業、北海道エア・ウォーター

■**不動産業** SRコーポレーション、クラスコ、CBRE、常口アトム、三井不動産リアルティ札幌、大東建託

■**サービス** あいプラン、アウトソーシングテクノロジー、アートシステム、岩手県農業共済組合、ANA新千歳空港、エイチ・アイ・エス、LDH JAPAN、帯広市川西農業協同組合、カナモト、北日本広告社、きたみらい農業協同組合、きょうわ農業協同組合、釧路商工会議所、グロップ、甲賀伸彦税理士事務所、光成会計事務所、札幌商工会議所、札幌北洋リース、正栄プロジェクト、湘南ゼミナール、シンクアクト、新鉛温泉、スタジオアリス、生活協同組合連合会大学生協事業連合北海道地区、成基、世界紀行、全国農業協同組合連合会岩手県本部、そらち南農業協同組合、大樹町農業協同組合、ディーエルピー、ニラク、野口観光、P&L企画、ペイロール、ホクレン農業協同組合連合会、北海道アルバイト情報社、北海道光生舎、北海道農業共済組合連合会、マイナビ、丸千代山岡家、ミス・パリ、ミツ星レストランシステム、四谷大塚、レブニーズ、労働者健康安全機構

■**地方公務** 沖縄県警察、音更町役場、帯広市役所、新得町役場、中札内村役場、八戸市役所、北海道警察、北海道庁

キ|ャ|リ|ア|セ|ン|タ|ー|だ|よ|り

「釧路公立大学キャリアセンター」

就活ルールが一括採用から通年採用に変わろうとしています。

これまでは、就活市場でグランドオープンと言われる3月1日の求人一斉公開のあと、6月に面接解禁、10月から内定を出していくという全国統一ルールの一括採用でしたが、これを主導して策定した経団連が、昨年このルールの撤廃を決めました。学生の混乱を防ぐために政府が就活ルール策定を引継ぎ、当面は一括採用ルールを継続していくことになっています。しかし、このルールがすでに形骸化していることは周知のとおりで、各企業の採用活動は早まる一方です。今年5月の10連休の影響で早まり、来年は東京五輪の影響でさらに加速する見通しです。このため、留学する学生などに不利にならないようにということから、通年採用が主流になると言われています。実際のところ、通年採用に対応しきれない企業も多く、就活市場は混とんとしているのが現状ですが、大学1年生からでも内定を出すという通年採用を導入する企業も確実に増えています。

大学生は、これまでの就活のグランドオープンをただ待つだけという“基本姿勢”を捨てねばなりません。巨大化した就活市場に氾濫する情報の中から自分に必要なものを見極めて、自分を見失わずに行動する力が必要になります。そのために、キャリアセンターも日々その機能をアップデートして学生をフォローしていきます。



後期に実施する就職対策事業

10月	筆記試験対策講座 進路登録票説明会 内定者パネルディスカッション 動画で学ぶ!! お仕事研究講座 公務員試験合格者パネルディスカッション TOEIC IP試験 企業訪問報告会 一般常識対策模擬試験 OB・OGIに聞く～仕事のアレコレ～(民間企業) 履歴書対策講座・添削
11月	マナー・身だしなみ講座 就活メイクアップセミナー(女子学生対象) WEB SPI受検会 OB・OGIに聞く～仕事のアレコレ～(公務員) 秘書検定試験 グループディスカッション対策講座 エントリーシート攻略講座・添削 模擬グループディスカッション OB・OGIに聞く～採用担当者が考える「こんな人が欲しい!」～ 金融実務講座～就活に必要な人生設計～
12月	面接対策講座 模擬面接(集団) 内定者による就活相談会 模擬面接(個人) エントリーシート添削(実践編) 公務員試験説明会
1月	大人から見た企業研究講座 第一志望に内定する志望動機講座
2月	合同企業説明会攻略講座 就活直前対策講座 業界研究会 公務員模擬試験(公務員共通型) 公務員受験対策講座(春期集中) 公務員模擬試験(警察官・消防官型)
3月	合同企業説明会参加 無料バス 公務員模擬試験(国税専門官型) 公務員模擬試験(国家一般職型)

男子ソフトボール部

部長 経営学科3年 吉田 尚稀

こんにちは、男子ソフトボール部です。私たちは現在46人で活動しています。人数を聞くととても多いと感じると思いますが、部活の掛け持ちをしている人がほとんどです。そのため練習は週3回あるのですが、他の部活と重なっている、バイトが入っているなどで全員が集まれない日が多々あります。部員は中学校や高校まで野球をやっていたという人がほとんどで、毎回和気あいあいとした雰囲気楽しくやっています。基本的に遠征はなく、大会も釧路市内での開催しかなく、部活をするにあたって道具は貸し出し、服装は自由、参加も時間があるときに任意で参加、部費の徴収は基本的に無く、必要に応じて大会費用を少し集めるという感じで行っています。

普段の練習は女子ソフトボール部と一緒にこなっています。キャッチボールやバッティング、ノックなどをしたり、土曜日など時間があって人数も多いときには紅白戦などを行っています。普段

の練習の他にも、チーム数は少ないですが釧路で行われる一般の方々も参加する大会にも年に数回参加して、何度か優勝もすることができました。

あまり活動的とは言えない部活ですが、近年釧路ではソフトボール人口が減ってきているようで、ソフトボール協会の方でも様々なイベントなどを企画し競技人口を増やそうと頑張っているとのことですので、そういった場に積極的に参加することで、地域に支えられている大学の学生として少しでも貢献できればと思います。

これからもみんなで楽しく和気あいあいとやっていきたいと思います。



YOSAKOIソーランサークル心～sin～釧路学生魂

部長 経済学部3年 小野寺 諒

こんにちは。YOSAKOIソーランサークル心～sin～釧路学生魂です。私達は釧路公立大学、北海道教育大学釧路校、釧路短期大学の3大学の学生で構成されており、6月に札幌市で開催されるYOSAKOIソーラン祭りにおけるファイナル進出を目標にして日々練習しています。練習は基本的に各大学が週2日で実施しており、大演舞や、YOSAKOIソーラン祭りが近づいてきた際には更に練習日を設けて本番を意識してチーム全員で高め合っています。

私達、心～sin～釧路学生魂は今年も6月に開催されたYOSAKOIソーラン祭りに参加してきました。今年は踊り子およびチームの裏方を担当するマネージャーを含め総勢90人以上で10代目作品「道、踏み咆ぶ」を披露してきました。ファイナル進出という目標を達成することはできませんでしたが、YOSAKOIを始めたばかりの1年生から、裏方を担当した4年生まで1人1人の心が1つと

なり、「道、踏み咆ぶ」を踊ることができ後悔は一切ありません。現在は11代目へと代替わりをし、2年生が主導となり後輩たちが一生懸命日々の練習に励んでいます。

私達の日々の活動は練習だけではなく、老人ホームや地域のお祭りに招待してもらい演舞を披露させて頂くなど、お客さんとYOSAKOIを通して触れ合うという、地域に密着した活動も積極的に行っています。また仮装ボーリング大会や大学対抗運動会なども実施し、日々楽しく活動しています。

これからもサークルメンバー一同、一丸となって来年のYOSAKOIソーラン祭りで結果を残したいと思います。応援の程、宜しくお願い致します。



令和元年度釧路公立大学公開講座

共通テーマ

「考える・歩く・動く

～平成から令和への大学と地域～

■高野 敏行 学長

講演テーマ 哲学が与えてくれるもの

概要 図書館や本屋で哲学の本を眺め、「これを読んでもみたい。だけど何の役に立つのだから？」と思ったことはないだろうか。今回は、哲学が与えてくれるもの、哲学が伝えようとしているものは……です、と言ってしまうことを目指しています。つい、自分のこれまでの経験についても触れてしまいそうです。できれば、一度くらい、「哲学の本を読んでもみたいな」と思ったことがある人に聞いてほしいです。

■小路 行彦 教授

講演テーマ 北陸都市探訪

概要 「日本のスウェーデン富山」「創造都市金沢」「福井モデル」と北陸の三都市に焦点をあてた議論が注目されています。この三都市に共通しているのは、保守的な地域だということですが、それがいつの間にか、時代の先端をいく都市になっているというのが、注目された議論の骨子です。どうしてそういう議論になるのだろうか。隣の新潟県出身の私は半信半疑で訪ねてみました。その探訪の一端を紹介しようと思います。

■東 裕三 准教授

講演テーマ 住民および企業の地域間移動と地域活性化政策 —経済学的観点からの考察—

概要 現在、わが国は人口減少が進み、また地方圏から大都市圏への人口移動も抑制できない状態となっています。地方圏の人口減少が進行すると、地域における労働供給の減少、そして人口減少にともなう財・サービスへの需要の減少により、企業も移出し、今後、地方圏の経済は衰退する恐れがあります。そこで、本講座では、住民や企業が地域をどのように移動しているのかを経済学的な観点から理解し、その上で、いかなる政策を行えば住民や企業が地域内に移入しかつ留まるのかを考察します。

■北島 義和 准教授

講演テーマ 遠く離れた、「優良事例」でもない、ほんの1つの地域から学ぶ

概要 アイルランドという国の、ある地域のお話をします。ただ、道東と似た点もあるので、あまり異文化に触れる感じではないかもしれません。お話の中心は、近年日本でも盛んな「歩く観光」にまつわることです。ただ、ほとんど「失敗事例」と呼んでよい地域なので、あまり地域活性化の参考にはならないと思います。また、その地域のお話がほとんどで、たくさんのデータを用いて分析などをするわけでもありません。でも、多分それでも、私たちが学べることはあるのです。

■釧路公立大学公開講座 1回目

日時	10月9日(水) 18:30~20:00
場所	釧路公立大学 2階202教室
講師	北島 義和 准教授
演題	遠く離れた、「優良事例」でもない、ほんの1つの地域から学ぶ

■釧路公立大学公開講座 2回目

日時	10月16日(水) 18:30~20:00
場所	釧路公立大学 2階202教室
講師	小路 行彦 教授
演題	北陸都市探訪

■釧路公立大学公開講座 3回目

日時	10月18日(金) 18:30~21:00
場所	弟子屈町公民館 2階講堂
講師1	北島 義和 准教授
演題1	遠く離れた、「優良事例」でもない、ほんの1つの地域から学ぶ
講師2	高野 敏行 学長
演題2	哲学が与えてくれるもの

■釧路公立大学公開講座 4回目

日時	10月23日(水) 18:30~20:00
場所	釧路公立大学 2階202教室
講師	東 裕三 准教授
演題	住民および企業の地域間移動と地域活性化政策 —経済学的観点からの考察—

■釧路公立大学公開講座 5回目

日時	10月25日(金) 18:30~21:00
場所	阿寒町公民館 2階視聴覚室
講師1	東 裕三 准教授
演題1	住民および企業の地域間移動と地域活性化政策 —経済学的観点からの考察—
講師2	小路 行彦 教授
演題2	北陸都市探訪

■釧路公立大学公開講座 6回目

日時	10月30日(水) 18:30~20:00
場所	釧路公立大学 1階大講義室1
講師	高野 敏行 学長
演題	哲学が与えてくれるもの

- ・釧路会場：釧路公立大学
2階202号室 (10/9、10/16、10/23)
1階大講義室1 (10/30)
釧路市芦野4丁目1番1号
- ・弟子屈会場：弟子屈町公民館 2階講堂
川上郡弟子屈町中央2丁目3番2号
- ・阿寒会場：阿寒町公民館 2階視聴覚室
釧路市阿寒町中央2丁目4番1号
- ・受講無料
- ・対象 高校生以上
- ・受講方法 お申込みの必要はありません。
- ・お問合わせ 釧路公立大学 総務課

K.P.U. フェスタ2019

K.P.U.フェスタ実行委員会委員長
経営学科3年 藤森 将司

本冊子をご覧の皆様、KPUフェスタ実行委員会委員長の藤森です。本学の大学祭は、地域の方々に支えられ、今年で第18回を迎えます。私達実行委員会は、皆様の期待に応えるべく大学祭づくりに励んできました。

さて、今年度のテーマは「Time Slip」です。このテーマは、この大学祭を通じて、皆さんが若き日の青春や童心に帰り楽しむことを思い出すようなエンターテインメントを創りたいという私たちの思いから生まれました。

今年度の大学祭のメインイベントは東京03&ゴー☆ジャスによるお笑いライブ、大抽選会、花火大会、そして今年度初の試みである音楽イベント「ULK~Univer Live in KPU」の4つです。特に「ULK~Univer Live in KPU」では、学内だけでなく地域の学校や、社会人クラブからも出演者をお招きし、ダンス、よさこい、アカペラコーラス、吹奏楽、民謡と幅広いジャンルを揃え、大人から子供まで楽しめるイベントとなっております。

一人でも多くの方に釧路公立大学の大学祭を知っていただき、地域の皆様が、地元の大学として誇れるような存在になれるよう堅実に、そして誠実に実行委員一同取り組んで参ります。

◎大学祭 (K.P.U.フェスタ) の開催日程

本祭 10月12日(土) 10:00~20:00 10月13日(日) 10:00~20:00

※全日程、一般公開となっております。

◎2019年度後期授業料の納付について

後期授業料は10月31日までに納めてください。最寄の金融機関から、同封の「納入通知書兼領収書」でお振込みください。特別な事情により授業料の分割納付や減免を希望される場合は、学年毎に指定された受付日に関係書類を提出してください。

編集後記

先日、九州の中山間地域へ調査に赴く機会があった。そこで目にしたのは、山肌へばりつくいくつもの小さな田んぼ、苔むした鎌倉時代の石仏、初対面の私にもたくさんの食べ物をくれるおばあちゃん。あるいは、田畑を取り囲む獣害避けの柵、高齢化による人手不足に直面する地域組織、「活性化」の名の下にやってくる外部の人々やプロジェクト。さて、我々の住む釧路とはどこが違ってどこが同じなのか。そこにどのような背景と意味があるのか。本学の学生の多くは、生まれ育った地域を離れて学生生活を送っている。せっかく遠くまで来たのだし、彼らにはこの釧路に住むことによって見えてくるものに、しっかりと目を凝らしてもらいたい。

釧路公立大学だより 第60号

2019年(令和元年)10月1日発行

◎発行元

釧路公立大学

〒085-8585 釧路市芦野4丁目1番1号

TEL 0154-37-3211

FAX 0154-37-3287

学生課: TEL 0154-37-5091

URL: <https://www.kushiro-pu.ac.jp/>

◎発行日

毎年2回(4月1日、10月1日)